

今昔物語

その55

紀州大水害（28年水害）の記録①

大里地区



昭和28年7月撮影



昭和30年ごろ撮影



現在

今回から数回にわたって昭和28年に発生した紀州大水害（28年水害）のときに撮影された大里地区の写真をご紹介します。

紀州大水害は昭和28年7月17日から18日にかけて和歌山県を中心に梅雨前線による豪雨が襲い、山崩れや崖崩れ、洪水が起こるなど甚大な被害をもたらした水害です。

今回紹介する写真は、旧相野谷村役場で保管していたもので、相野谷橋付近の様子を撮影した写真です。川の水が橋げた近くまで迫ってきており、昭和30年ごろに撮影された平時の水位と比べ、明らかに高くなっていることがわかります。

また、同年9月には台風13号が襲来するなど災害の多い年でしたが、これらの災害を経て鮎田水門の改修が行われることになりました。

つむじりや

春を告げるアレル

よつやく寒い季節も終わりを迎えてきましたね。寒がりな僕は昆虫と同じで10度以下の日は動きが鈍り、テンションが上がらないので、暖かい春の訪れは大歓迎です。ただ、この季節は花粉症で悩まれている人も多いのではないかと思います。僕もそこまで重くはありませんが花粉症持ちで、特に今年は花粉の飛散量が多いとニュースで聞き身構えていましたが、今のところあまり外に出歩いていないせいか、そこまでひどくはなっていません。しばらくは花粉症に悩まされる日々が続きますが、個人的には景色の移り変わりを一番楽しめる季節でもあるので、運動不足を解消するためにも、少しでも外に出るよう心がけていければと思います。

（この時期はティッシュが手放せない 愛野 裕基）

おもしろい人になりたい!?

私自身、学生のころは5教科の中で国語が一番得意で、作文などを書くのも苦ではなかったのですが、わかりやすく興味を持ってもらえる文章を書くのは、むしろしんどい感じがしています。

また、住民の方にお話をすると「今月は〇〇やったね」と、ひとりの内容について話しかけていたことがよくあります。最後まで読んでくれていたんだなとうれしくなると同時に、関西人の血が騒ぎ（？）おもしろいことを書かなければと勝手に自分にプレッシャーをかけながら書くのですが、考えれば考えるほどおもしろくありません。おもしろいことをパッと思いつく人は生まれ持った才能をお持ちなのでしょう。私もクソッと笑っていただけのような、センスのよさ（？）と書きたいな、と思（今）の頃じゃ。

（コメンティアンへの道はまだ続く 大森 菜央）



大森 菜央



大森 菜央